

## 青森明の星高校 英語科アメリカ修学旅行レポート①

### ■ 12月1日（日）

天候にも恵まれて、無事に青森空港を出発して、一路インチョン空港に到着しました。

アジアの国際線のハブ空港であるだけに、ブランドものやコスメティック、生徒たちの間でも流行っているタピオカティーのお店など、ぶらぶら歩きには充実した巨大なターミナルです。記念写真を撮りあったりしながら1時間ほど散策しました。

そのあとは、アメリカ入国審査に備えて事前に入国のレクチャーを行いました。アメリカではテロ対策のためにグループでの行動が禁止されています。そのため、入国時は先生も添乗員も隣には立てないことを伝えました。



ロサンゼルス空港行きの飛行機のなかでは、生徒たちはキャビンアテンダントさんに話しかけて、この仕事に就くための語学力について質問したり、一緒に写真を撮ったり、機内食のビビンバを食べたりと楽しんでいました。

約11時間の飛行時間、ロサンゼルスまで長旅だったので、少々疲れ気味の生徒もいましたが、入国審査のフロアに入ると、人の多さにびっくり。生徒たちの歩きも気持ち勇しいものになりました。そしていざ入国。入国審査官から一人一人入国の目的を聞かれます。空港職員の誘導であっちへ行きこっちへ行き、すんなり審査を通れる生徒、長蛇の列に並ばされる生徒もいたり、荷物検査でスーツケースを開けて確認されたりと、全員が通るのには約2時間近くの時間がかかりましたが、皆さんそれぞれで入国を果たしました。



到着ロビーへ出て語学学校の出迎えスタッフと合流して、「Welcome to USA!」の言葉に、みんなで元気に「イエーイ!」と声を上げました。

空港から語学学校までは車で約1時間半の移動。外はすでに暗くなりだしていました。

そしていよいよホストファミリーとご対面。駐車場に着いても「緊張する～」となかなかバスから降りようとしません。そして一人ずつファミリーが「Welcome! Nice to see you」と迎えにきてくれました。すでに日が沈み真っ暗でしたから記念写真を撮るには難しかったですが、みなさん緊張はあるものの、ホームステイ先に帰宅していきました。